

編集後記

信州大学法学論集第17号において、研究ノートが5本と研究報告が1本掲載されました。合計6本で民法、EU法、子ども法、商法、刑事法の分野でした。今後も多くの論考を提出していただき、法学論集が充実することを期待しています。今回は、長野県地方検察庁松本支部の検事からの投稿がありました。信州大学法学論集が地域の法学雑誌になることを期待しています。

平成22年10月22日に、早稲田大学大学院法務研究科の鎌野邦樹教授を法律学研究会にお招きして、「マンション法の課題と将来の展望」と題する講演が行なわれました。信州大学大学院法曹法務研究科の教員だけでなく、信州大学経済学部の教員も参加した意義深い講演会になりました。

平成23年1月28日に、早稲田大学名誉教授の牛山積先生をFD研修会にお招きして、「公害・環境法の教育・研究について」と題する講演が行なわれました。前述した法律学研究会と同様に、信州大学大学院法曹法務研究科の教員だけでなく、信州大学経済学部の教員も参加した有意義な講演会になりました。信州大学全体で環境研究と教育に力を入れていますので、本講演は、大学院法曹法務研究科としての役割を追求するのに役立ちました。

平成23年2月3日に、信州大学大学院法務研究科の小高剛教授の退官記念講演を法律学研究会で開催しました。テーマは「損失補償と最高裁判決」でした。信州大学大学院法曹法務研究科の教員だけでなく多くの学生も参加いただき、長年の教育への貢献に感謝いたしました。

FD・紀要委員会

角田光隆，神戸美佳